

## 第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

### 【奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直しの関連指標】

指標				平成28年度	平成29年度	目標値 (平成33年度)	担当
市民ふれあい交流事業 (ミニ直売所)(箇所)				6	6	10	農政課
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント			
4	1	3	3	地産地消に関する市民の意識・必要度は年々格段に向上しており、生産と消費を直結させ安全安心の見える関係づくりや地域活性化、さらに運輸エネルギーの削減にもつながっている。今後は、一定の規模があれば開催回数が少なくとも補助対象とするなど参入の垣根を低くする工夫を検討し、さらなる拡大を期待する。			
総合評価		前年度からの進捗					
B							
指標				平成28年度	平成29年度	目標値 (平成33年度)	担当
農業地域と市街地との 交流参加者数(人)				61	53	100	都祁行政 センター 地域振興課
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント			
3	1	3	3	農業体験を通して農業や農地に愛着を感じてもらうのは、食育の観点からも重要な取り組みであり継続していただきたい。地元の高校や県内農業高校との共同による事業実施は将来につながる試みであり、参加した若者が魅力を感じるようなビジネスモデル作りも含め、より魅力的なプログラムを提供できることを期待したい。			
総合評価		前年度からの進捗					
B							
指標				平成28年度	平成29年度	目標値 (平成33年度)	担当
奈良県産学校給食食材 地産地消率(%)				33.84	36.23	50	保健給食課
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント			
4	1	3	3	地元の地産地消食材利用は食の安全安心にも繋がり農業振興に大きく寄与する。特に、食育による地元食文化への理解から郷土愛を育むことが期待できるため、将来のある子どもたちの学校給食への地産地消食材利用を積極的に進めることを期待する。			
総合評価		前年度からの進捗					
B							

### 【実施事業】

#### 1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体が茶摘み体験、こんにゃく作り体験、餅つき大会等を行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（田植え、ブルーベリー採り、稲刈り、収穫祭）を行っています。

## 2 市民ふれあい交流事業

### 【ミニ直売所】

地場産の新鮮で安心・安全な農産物の消費を促進するとともに、生産者と消費者のふれあい交流を推進するため、平成29年度は、鳥見、富雄、赤膚、鶴舞、済美南及び白毫寺の6箇所においてミニ直売所を実施しました。



### 【ふれあい交流ファーム】

農村地域において農業従事者からの耕作指導を受けながら農作物を育てる実体験を通して市民間のふれあいを深める場を「ふれあい交流ファーム」として提供しています。



## 3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しています。平成29年度の奈良県産学校給食食材地産地消率は、36.23%となります。安全安心の観点からも地元産食材の需要が伸びる中、気象状況の影響等によりまとまった量の食材確保がさらに困難な状況となっています。